

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
京都医健専門学校	平成17年3月3日	小林 哲夫	〒604-8203 京都市中京区衣棚町51-2 (電話) 075-257-6507																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人 滋慶京都学園	平成17年3月3日	近藤 雅臣	〒604-8203 京都市中京区衣棚町51-2 (電話) 075-257-6507																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																															
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科	平成19年2月22日 文部科学省告示第20号	—																															
学科の目的	スポーツ・健康分野における社会の多種多様なニーズに応えられる人材の育成を目指します。安全な運動指導および補助を行えるよう、スポーツに関する基礎的知識から専門知識まで、専門教育を幅広く学びます。目指す業界において必須となる資格取得に向けたカリキュラム展開を中心に、人生設計のためのキャリアプランニングや、プレゼンテーション能力および実践指導能力の向上を目指すカリキュラムについても実施することにより、業界で即戦力となる人材を育成します。																																		
認定年月日	平成28年2月29日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	1740時間	1110時間	1710時間	240時間	0時間	0時間																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
160人	210人	0人	5人	27人	32人																														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。 A… 100～80点 — 合格 B… 79～70点 — 合格 C… 69～60点 — 合格 D… 59～ 0点 — 不合格																															
長期休み	■夏季: 7月28日～8月26日 ■冬季: 12月22日～1月6日 ■学年末: 3月1日～3月31日		卒業・進級条件	履修すべき科目のうち、履修を認定されない科目(不合格)が1科目以上あれば、原則進級・卒業できない。																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 出席管理システムを使用し、担任を中心に出席状況を把握する。長欠者等に対しては、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター(SSC)を開設し全職員で対応している。		課外活動	■課外活動の種類 学園祭、スポーツ大会、部活動、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) フィットネスクラブ、健康増進施設、公共運動施設、疾病予防施設、老人保健施設、障害者施設、専属(チーム)トレーナー、トレーナー派遣会社、スイミングクラブ、スポーツ用品店、病院・医院、リラクゼーション関係、幼児体育関連企業、スポーツ関連企業など ■就職指導内容 就職専門の部署であるキャリアセンターを設け、学科・担任と連携して、就職指導を行っている。具体的には学内合同企業説明会を実施、履歴書添削、面接指導等を段階的にを行い、希望者全員が就職できるまで、卒業後もサポートしている。 ■卒業生数: 86人 ■就職希望者数: 62人 ■就職者数: 62人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 72.1% ■その他 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスレティックトレーナー(筆記試験)</td> <td>③</td> <td>25</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>アスレティックトレーナー(実技試験)</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>③</td> <td>81</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>レクレーションインストラクター</td> <td>③</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>障害者初級スポーツ指導員</td> <td>③</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>JATI-ATI</td> <td>③</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アスレティックトレーナー(筆記試験)	③	25	9	アスレティックトレーナー(実技試験)	③	9	9	健康運動実践指導者	③	81	41	レクレーションインストラクター	③	33	33	障害者初級スポーツ指導員	③	11	11	JATI-ATI	③	3	1
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
アスレティックトレーナー(筆記試験)	③	25	9																																
アスレティックトレーナー(実技試験)	③	9	9																																
健康運動実践指導者	③	81	41																																
レクレーションインストラクター	③	33	33																																
障害者初級スポーツ指導員	③	11	11																																
JATI-ATI	③	3	1																																
中途退学の現状	■中途退学者 6名 平成29年4月1日時点において、在学者177名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者171名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的問題、学業不振、意欲の低下、進路変更、心身の不調 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談		■中退率 3.4%																																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無し ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無し ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																		
当該学科のホームページURL	URL: http://www.kyoto-iken.ac.jp																																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツに関する基礎的知識から専門知識まで、専門教育を幅広く学び、目指す業界において必須となる資格取得に向けたカリキュラム展開を中心に、人生設計のためのキャリアプランニングや、プレゼンテーション能力および実践指導能力の向上を目指すカリキュラムにより、業界で即戦力となる人材育成を目的とし、業界が必要とする人材を業界と共に育成する(産学協同教育システム)という考えのもと、業界と連携した授業を実施しています。また、教育課程編成委員会や講師会等において、業界・団体の方の意見や動向、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行っていきます。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては、教員組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実績的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、このために従い、委員会を運営します。委員会で提案された意見は、学科会議で具体的な実践方法を検討し、教育課程編成に取り入れます。作成された教育課程は教務部長・事務局長・学校長の承認を経て実施されます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
竹本 雅信	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
生出 貴也	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
樋場 八裕	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
鳥嶋 勝博	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
加藤 雅也	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
平岡 義光	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
西岡 大輔	京都医健専門学校	H30.4.1～H31.3.31	事務局
村井 伸也	公益財団法人 京都府体育協会	H30.4.1～H31.3.31	①
松田 直人	スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社	H30.4.1～H31.3.31	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月・9月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年6月29日 19:30～20:30

第2回 平成30年9月21日 19:30～20:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

近年の入学者は社会人マナーなどが低下傾向にあり、養成校に対しては知識・技術の教育だけでなく人間教育まで求める時代となっている。入学当初から日々の学校生活のいかなる場面においても、挨拶を基本にした人間教育を実践していき、学科カリキュラムの中にも対人援助やコミュニケーションスキルアップとした授業も取り入れることにした。そのベースを基に業界のニーズに対し、授業・実習を通して即戦力の活躍が出来るように人材を輩出していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出すという「産学協同教育」を開講以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行う為、業界と連携し、専門知識・技術、人間力を持ち合わせた人材育成を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習科目においては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
スクーバ理論実習	近年、自然環境に関心を持ち、健康の維持・増進を目的とした運動のためにスクーバダイビングを楽しむ人々は増加傾向にある。運動指導者にとって、水泳および水中運動の基礎的スキルを身につけることは必要不可欠になっている。これに加えてスクーバダイビングの理論と実技を身につけることで、水に関する幅広い知識や経験を積むためとプロのインストラクターの指導方法を体験することを目的として開講している。	ダイビングスクールイオ
特別講義 (トレーニング指導演習)	プロ選手のトレーニング指導をされている平岡洋二先生を招き、トレーニングの指導を理論及び実践指導していただき指導方法の理解と実践できる能力を身につけることを目的として開講している。	株式会社アスリート

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。平成30年度においては、中途退学者防止と国家試験全員合格に向けた「学生一人ひとり」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心に捉え、ファカルティ・デベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の二つの要素が年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行います。
 ① キャリア教育の視点、② 一人ひとりを見ていく視点
 さらに、専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施しています。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 研修名「健康運動実践指導者教員研修会」(連携企業等:公益財団法人 健康体力づくり事業財団)
 期間:3月20日(火) 対象:養成校主任教員
 内容: : 受験結果や受験に際しての問題点などの総括と次年度の方向性についての研修

研修名「JAF実技教員研修会」(連携企業等:公益財団法人 健康体力づくり事業財団)
 期間:10月26日(木) 対象:実技評価員
 内容:実技試験の評価基準及び評価方法と実際の指導について

② 指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「教職員カウンセリング研修<一次研修>」(連携企業等:滋慶教育科学研究所(JESC))
 期間:平成29年9月28・29日 対象:担任及び学生・保護者とコミュニケーションが必要な方
 内容:滋慶学園グループの全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す。JESC認定教員カウンセラー(1次)資格取得を目指す。

研修名「教職員カウンセリング研修<二次研修>」(連携企業等:滋慶教育科学研究所(JESC))
 期間:平成29年9月29日 対象:担任及び学生・保護者とコミュニケーションが必要な方、1次研修受講済の方
 内容:滋慶学園グループの全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す。JESC認定教員カウンセラー資格(2次)取得を目指す。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「健康運動実践指導者教員研修会」（連携企業等：公益財団法人 健康体力づくり事業財団）
期間：3月 対象：養成校主任教員
内容：受験結果や受験に際しての問題点などの総括と次年度の方向性についての研修

研修名「JAF A実技教員研修会」（連携企業等：公益財団法人 健康体力づくり事業財団）
期間：10月26日（金） 対象：実技評価員
内容：実技試験の評価基準及び評価方法と実際の指導について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教職員カウンセリング研修＜一次研修＞」（連携企業等：滋慶教育科学研究所（JESC））
期間：平成30年10月30・31日 対象：担任及び学生・保護者とコミュニケーションが必要な方
内容：滋慶学園グループの全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す。JESC認定教員カウンセラー（1次）資格取得を目指す。

研修名「教職員カウンセリング研修＜二次研修＞」（連携企業等：滋慶教育科学研究所（JESC））
期間：平成30年10月31日 対象：担任及び学生・保護者とコミュニケーションが必要な方、一次研修受講者
内容：滋慶学園グループの全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す。JESC認定教員カウンセラー資格（2次）取得を目指す。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に活かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

中途退学者の減少の努力を継続するようという評価結果に対して、「ひとり一人を大切に」という視点に立って、「学生相談室」の強化、学習ポートフォリオの継続実施、キャリアサポートアンケートの有効活用等を推進して行きます。複数学科の連携を期待されていることから、理学療法科・作業療法科・言語聴覚科・社会福祉科による「多職種連携ゼミ」を強化し、スポーツ科学科・柔道整復科・鍼灸科・理学療法科による「KISA（京都医健スポーツアカデミー）」を発足させました。また、卒業生へのサポートが重要との評価に対し、WEBを用いた離職者調査を行い、キャリアセンター、教務部が連携し、離職予防・再就職サポートを進めていきます。

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程スポーツ科学科) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			英会話Ⅰ English ConversationⅠ	グローバルな感性を養い、国際化に対応でき、コミュニケーションができる能力を身につけます。	1前	30	2	○			○			○		
	○		英会話Ⅱ English ConversationⅡ		1後	30	2	○			○				○	
		○	英会話Ⅲ English ConversationⅢ		2前	30	2	○			○				○	
		○	英会話Ⅳ English ConversationⅣ		2後	30	2	○			○				○	
○			情報技術Ⅰ Date ProcessingⅠ	コンピュータの利用方法に関する基礎知識および操作をMicrosoft Word・Excel・PowerPointを中心に学びます。	1前	30	2		○		○				○	
		○	情報技術Ⅱ Date ProcessingⅡ		1後	30	2		○		○					○
○			ビジネスマナーⅠ Business MannerⅠ	人と接する仕事をする上で必要なコミュニケーションスキルから、社会人として必要なマナー等について幅広く学びます。	1前	30	2	○			○				○	
		○	ビジネスマナーⅡ Business MannerⅡ	人と接する仕事をする上で必要なコミュニケーションスキルから、社会人として必要なマナー等について幅広く学びます。	1後	30	2	○			○				○	
○			就職対策講座Ⅰ Career PlanningⅠ	社会人・業界人として必要な一般常識から、就職に向けての書類作成方法や面接の受け方等を幅広く学び、身につけます。また業界研修等に向けての準備として位置づけ、業界人としての心構え等について学びます。	1前	30	2	○			○			○		
		○	就職対策講座Ⅱ Career PlanningⅡ		1後	30	2	○			○			○		
		○	就職対策講座Ⅲ Career PlanningⅢ		2前	30	2	○			○			○		
		○	就職対策講座Ⅳ Career PlanningⅣ		2後	30	2	○			○			○		

○	エアロビクスⅠ Aerobics Dance I	有酸素運動の代表であるエアロビクスダンスの基礎知識から技術までを演習を通じて学びます。	1 前	30	2		○	○	○					
○	レクリエーション理論演習Ⅰ Recreation Seminar I	職場や学校での野外活動等に必要とされるレクリエーションスキルについて基礎から学びます。	1 前	30	2		○	○					○	
○	水中運動 Exercise of Swim	水中運動の特性を理解するとともに、4泳法からアクアビクスまで演習を通じて幅広く学びます。	1 前	30	2		○		○				○	
○	現場実習Ⅰ The Industry Training I	学内外で行われる実習の準備から実施、反省までの一連の流れを繰り返し、実践力を養います。	随時	60	2			○		○	○	○		
○	コンディショニング理論演習Ⅱ Conditioning Seminar II	スポーツ現場におけるコンディショニングの方法についてその基礎知識から技術までを幅広く学びます。	1 後	30	2		○		○					○
○	スポーツ心理学Ⅰ Sports Psychology I	心理学に関する基礎知識から、スポーツ場面における様々な問題を心理学的に捉えます。	1 後	30	2		○		○					○
○	アスレティックトレーナー論 Introduction to AT	アスレティックトレーナーとしての役割を理解し、知識を深めます。	1 後	30	2		○		○				○	
○	アスレティックリハビリテーションⅠ Athletic Rehabilitation I	アスレティックリハビリテーションに関する基礎知識と技術を学びます。AT資格必修科目です。	1 後	30	2		○		○					○
○	スポーツ医学Ⅰ Sports Medicine I	指導者として理解しておきたいスポーツ医学に関する基礎知識を学びます。	1 後	30	2		○		○					○
○	スポーツ栄養学 Sports Nutrition	競技力向上や健康の保持増進のための栄養学について学びます。AT資格必修科目です。	1 後	30	2		○		○					○
○	テーピング応用 Advance for Taping Technique	多種多様なテープを使用し、様々な部位や傷害別に対応できるよう、実践を通じて学びます。	1 後	30	2		○		○				○	
○	ストレングス&コンディショニング理論演習Ⅱ S&C Seminar II	レジスタンストレーニングにおける基礎知識を学び、指導者としての正しいレジスタンストレーニングのテクニックを演習を通して身につけて学びます。	1 後	30	2		○		○					○
○	キャンプ理論演習 Camp Instructor Seminar	日本キャンプ協会認定「キャンプインストラクター」資格試験の合格に向けた受験対策です。受験希望者は必修となります。	2 後	30	2		○		○					○
○	エアロビクスⅡ Aerobics Dance II	エアロビクスダンスの向上及びグループレッスン等が必要とされる技術を演習を通して学びます。	1 後	30	2		○		○				○	

○	スタジオエクササイズ Studio Exercise	スタジオを中心として行われているエクササイズレッスンについて演習を通して体得します。	1 後	30	2		○	○		○			
○	基礎医学 Basic Medicine	指導者として理解しておきたいスポーツ医学に関する基礎知識を学びます。	1 後	30	2	○		○					○
○	運動療法理論演習 Therapeutic Exercise Seminar	運動療法についての基礎知識から、実際に行われている手技まで幅広く学びます。	1 後	30	2		○	○					○
○	レクリエーション理論演習Ⅱ Recreation Seminar II	レクリエーションについて更に学びます。レクリエーションインストラクター資格必修科目です。	1 後	30	2		○	○					○
○	健康支援演習Ⅰ Health Support Seminar I	健康支援、介護予防指導に必要な知識と指導技術の基礎を、演習を通して学びます。	1 後	30	2		○	○					○
○	リラクゼーション法 Method of Relaxation	ケアや癒しのプログラムとしてのリラクゼーション法について基礎知識から技術までを学びます。	1 後	30	2		○	○					○
○	クラブ経営論Ⅰ Sports Club Management I	クラブ経営に必要な視点について学びます。	1 後	30	2	○		○					○
○	スポーツビジネス論Ⅰ Sports Business I	スポーツにおける様々なビジネスモデルを学びます。	1 後	30	2	○		○					○
○	スポーツマネジメント論 Sports Management	スポーツ、運動現場におけるマネジメントに関して学びます。	1 後	30	2	○		○					○
○	スポーツメディア論 Sports Media	スポーツとメディアの関係性を理解します。	1 後	30	2	○		○					○
○	スクーバ理論実習 Scuba Diving	スクーバダイビングに関する基礎知識を学ぶとともに、資格取得を目指します。	1 前	30	2		○	△	○	○			○ ○
○	海外実学研修 Overseas Study Tour	グローバルな考え方を身につけるとともに、海外への提携校で研修を行い、知識や経験を深めます。	1 後	90	6		○			○	○		
○	宿泊研修 Staying Practice	宿泊研修を通して、各知識や専門的スキルの更なる向上を目指します。	2 後	30	2		○			○	○	○	
○	卒業制作 Graduate Work	2年間の集大成として、これまで体得した様々なことについて、自身でテーマを設定し、プレゼンテーションを行います。	2 前後	60	4		○			○	○	○	○

○	現場実習Ⅱ The Industry TrainingⅡ	学内外で行われる実習の準備から実施、反省までの一連の流れを繰り返し、実践力を養います。	随時	60	2			○	○	○	○	
○	ボランティア実習 Volunteer	学内外で行われる様々なイベント等でのボランティア活動を行います。	随時	60	2			○	○	○	○	
○	業界研修 Internship	学習した知識、技術を目指す業界で実際に実践を行い、その後の更なる学習や就職活動に生かすことを目的に現場での研修を行います。	随時	60	2			○	○	○	○	
○	特別講義 Special Lecture	特別講師を招き、最新の知識や旬の話題を得ることで、指導者としての見識を深めます。	随時	30	2		○	○		○	○	○
○	パフォーマンスアップ実習 Performance Improvement Practice	自分自身の身体能力を向上させ、見本、実演ができる能力を高めます。	随時	60	2			○	○	○	○	○
○	スキルアップ実習 Upskilling Practices	実践を通じ、指導技術を向上させます	随時	60	2			○	○	○	○	○
○	機能的解剖学Ⅲ Functional AnatomyⅢ	人体構造や神経系、生理学を中心に理解し、関節の機能や体表解剖について学びます。	2前	30	2	○			○			○
○	コーディネーショントレーニング Coordination Training	競技力向上に不可欠であるコーディネーションについて学びます	2前	30	2		○	○				○
○	ストレングス&コンディショニング理論演習Ⅲ S&C Seminar Ⅲ	ストレングスおよびコンディショニングに関する知識と技術を習得し、指導者としての指導テクニックについても演習を通して学びます。	2前	30	2		○	○				○
○	ストレングス&コンディショニング理論演習Ⅳ S&C Seminar Ⅳ	ストレングスおよびコンディショニングに関する知識と技術を習得し、指導者としての指導テクニックについても演習を通して学びます。	2後	30	2		○	○				○
○	トレーニング演習 Training Seminar	様々なトレーニング方法について学びます	2後	30	2		○	○				○
○	パーソナル指導法 Method of Personal Guidance	一人ひとりのクライアントのニーズに合わせた適切な運動処方指導法を学びます。	2後	30	2		○	○				○
○	プログラムデザイン Program Design	適切なトレーニングプログラムを作成するために必要な原理・原則について学びます。	2前	30	2		○	○				○

○	ウォーキングエクササイズ インストラクター Walking Exercise Instructor (WEI)	ウォーキングエクササイズに対して効果的な歩行法や運動の強度等のプログラムの作成及び、指導法について演習を通し、学びます。	2 後	15	1	○	○	○						
○	リハビリテーション理論 演習 Rehabilitation Exercise Seminar	リハビリテーションについての基礎知識を学びます。	2 前	30	2	○	○	○						
○	栄養指導論 Nutrition Guidance	クライアントに適切な栄養指導を行うための知識を学びます。	2 後	30	2	○	○						○	
○	基礎疾患概論 Basic Diseases Theory	生活習慣病に関連した基礎的疾患について基礎から学びます。	2 前	30	2	○	○						○	
○	健康支援演習Ⅱ Health Support Seminar II	健康支援、介護予防指導に必要な知識と指導技術の基礎を演習を通して学びます。	2 前	30	2	○	○						○	
○	健康支援演習Ⅲ Health Support Seminar III		2 後	30	2	○	○						○	
○	体力相談と運動 処方 Exercise Prescription and Physical Fitness	健康の保持増進に必要な運動習慣の重要性を理解し、適切な運動処方のための知識を学びます。 ex) 強度の設定	2 後	30	2	○	○						○	
○	福祉レクリエーション理 論演習 Welfare Recreation	福祉現場におけるレクリエーションサービスの在り方や意義等の基礎知識から実際までを演習を通じて幅広く学びます。	2 後	30	2	○	○						○	
○	障がい者スポーツ 理論 Adapted Sports Theory	日本障がい者スポーツ協会認定「初級障がい者スポーツ指導員」資格試験の合格に向けた受験対策です。受験希望者は必修となります。	2 前	30	2	○	○						○	
○	障がい者スポーツ 演習 Adapted Sports Seminar		2 後	30	2	○	○						○	
○	クラブ経営論Ⅱ Sports Club Management II	クラブ経営に必要な視点について学びます。	2 前	30	2	○	○						○	
○	スポーツビジネス論 Ⅱ Sports Business II	スポーツにおける様々なビジネスモデルを学びます。	2 前	30	2	○	○						○	
○	リラクゼーション演習 Relaxation Seminar I	ケアや癒しのプログラムとしてのリラクゼーション法について、部位別により詳しく学びます。	2 前	30	2	○	○						○	
○	アロマテラピー検定受 験対策 Exam Preparation for Aromatherapy	「アロマテラピー検定1級」資格試験の合格に向けた受験対策です。受験希望者は必修となります。	2 前	30	2	○	○						○	

		○	販売士対策講座 I License Examination Seminar for Retail Marketing I	「販売士3級」資格試験の合格に向けた受験対策です。受験希望者には必修となります。	1 後	30	2	○			○		○		
		○	販売士対策講座 II License Examination Seminar for Retail Marketing II	「販売士2級」資格試験の合格に向けた受験対策です。受験希望者には必修となります。	2 前	30	2	○			○		○		
		○	イベント検定対策 Exam Preparation for Event Certification	イベント検定合格に向けた受験対策です。受験希望者には必修となります。	2 前	30	2	○			○			○	
		○	ビジネス検定対策 Exam Preparation for Business Certification	ヨガについて基礎知識から学び、演習を通して技術を獲得します。	2 前	30	2	○			○			○	
合計					89科目		3615 単位時間 (229 単位)								